

新版『国語』教科書 Q & A

いよいよ全国の教室で、新しい教科書を使った学習が始まります。

新版『国語』教科書では、平成二十九年に告示された学習指導要領を受けて、さまざまな改訂をしました。教科書にはたくさん要素が凝縮されていますが、「新しい学習指導要領への対応」「教科書の構成」「デジタル教科書」の視点から、先生方の明日の授業のご参考になる部分をピックアップして、Q & A 形式で解説します。

また、後半では、新教材を使った授業の実践提案もご紹介します。

Q1 「主体的・対話的で深い学び」にはどのように対応していますか？

■「読むこと」教材

「学習（手びき）」の構成を一新し、見開きで学習過程を一覧できるようにしました。生徒の主体的な学びを促すために、上のバーで学習過程を明示するとともに、重点を置く過程は強調して、身につける力の焦点化を図りました。設問の流れは「個↓集団↓個」での学習に対応し、対話的に学びを深めることができます。

また「**学習の窓**」では、汎用的な読みのポイ

で、主体的な学習を促すことができます。

■「話すこと・聞くこと」「書くこと」教材

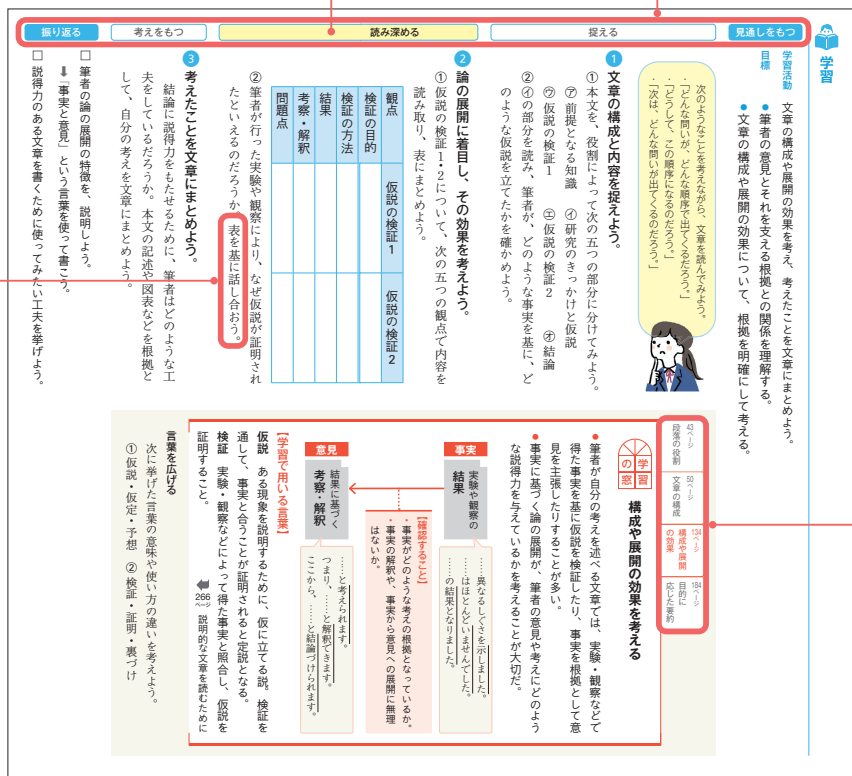
最初の見開きで活動の全容が見えるようにしたり、後述の「情報」教材と連動させながら「主体的・対話的で深い学び」が生徒に実感できるように工夫しています。

そのほか、各学年冒頭にある「**学習の見通しをもとう**」で、身につける「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を簡潔に示し、各領域の学習過程に沿って学びの深まりを実感できるようにしています。そして各学年の終わりに設けた「**学習を振り返ろう**」で、三領域の学習を確認します。学んだことを他の課題に応用することでの力の定着を図り、「何ができるようになったか」を自覚できます。

年間の学びを見通せる

学習過程が
見通せる

重点を置く過程を 色で明示



1 年 P134-135

対話的な学びを深める

学習の見通しをもとう

[illegible]

1 年 P6-8

問題を振り組み、身につけた力

質問のメールを送ろうとしている。

先生の「スティーブ」を全うして、スティーブの下書きを提出して、その

先生のアドバイス

② 正確正しい文書にしましょう

そのためには、次のことが必要です。

- ・敬語を適切に用いて書く。
- ・職場体験を受け入れていただいたことやお世話になることへのお礼を書く。

③ 所属名や署名は省略せずに全て示しましょう

例 今度、職場体験でお世話になります、
大空中学校二年……

メールの下書き

発見

件名

大宮市立大空幼稚園
北川先生

大宮中学校の山内芽衣です。

職場体験のごこと質問があります。

今日は、親見たちとランチルームでクイズ大会をしようとして計画しています。

ランチルームでオルガンを使いたいですけど、無理だったら、何か他の方法を考えます。

大宮中 2-2 山内

つなぐ

電卓、メモ帳や手帳を書くときには、伝えたいことを明確にし、文持ちや用件が伝わるように表現を工夫することが大切である。敬語を適切に用いながら文章にまとめ、書き終わったら、必ず読み手の立場に立って読み返し推敲しよう。

2 年 P256-258



■QRコンテンツ
一覧



Q2 「情報の扱い方」にはどのように対応していますか？

各学年に「**思考のレッスン**」「**情報整理のレッスン**」の二系列を位置づけ、よくある日常の「困った場面」を出発点に、情報を可視化したり、情報と情報との関係を理解したりすることの価値をわかりやすく示しました。

また、「**情報社会を生きる**」（一年P60、二年P60、三年P62）の系列も各学年に設け、総合的に情報を扱う力を養います。

さらに巻頭には「**思考の地図**」を置き、さまざまな場面で使える思考ツールや情報の可視化の方法を示しました。いつでも使える折り込み構造になっており、他教科や日常生活でも活用できます。

こうした教材と、三領域の教材を結び付けることによって、思考力や判断力、表現力を高め、より汎用性のある力にしていけることができます。

Q4 QRコードを使って、どのような指導や学習ができますか？

新しい教科書では、生徒が学習を進めるうえでの参考となり、さらに教材に興味・関心をもって深い学びにつなげていける資料をQRコンテンツとして収録しました。

QRコードで読み取れるコンテンツは、主に次の四つに分けられます。

- ① 作者・筆者のインタビュー動画
- ② 「話すこと・聞くこと」の活動場面動画
- ③ 古典教材の朗読音声
- ④ 読みを助けたリ発展させたりする資料

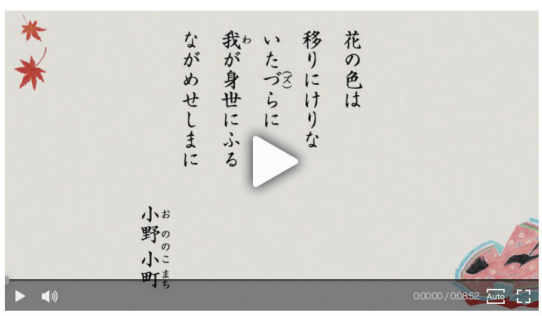
これらのコンテンツは、家庭で視聴して学習への意欲を喚起することもできると同時に、授業の中で再生し、クラス全員が同じ映像や音声と共有することで、感想や意見を交流させるなど対話的な学びに結び付けることも可能です。

作者 西加奈子さん

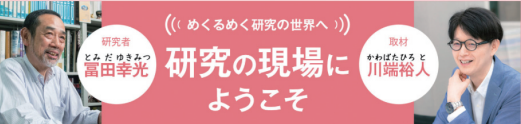


1年「シンシュン」作者インタビュー

百人一首を味わう



1年「学習を広げる」朗読音声



第1回 第2回 第3回 第4回 第5回

第1回 | 日本に野生のゾウやサイがいた頃

東京都・上野にある国立科学博物館では、毎年、夏休み前後の時期に特別展が開かれる。何回かに一度は、絶滅した動物についてのものだ。2014年の夏の特別展も、絶滅動物に関わるものだった。ただし、恐竜ではない。時間的にも空間的にもより身近な「日本で発掘された絶滅哺乳類化石」がテーマである。

では、かつてどんな絶滅哺乳類がいたのかというと、豪獣メンバーがそろっている。いわゆる巨大動物相が「日本」にもあって、ゾウや、サイや、オオツノジカや、今の基準でいえばかなりの「大物」が闊歩していたとか、想像してみよう。ちょっと郊外に出かけると、ゾウやオオツノジカなどがゆったりと歩き、食事をしている様子が見られるのだ。動物園でもサファリパークでもない、野生動物として！

特別展の企画を担当した地学研究部（2014年当時）の富田幸光さんにお話を伺った。

2年「読書に親しむ」ウェブページ

※「QRコード」は、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

見通しをもつ

学習活動
目標

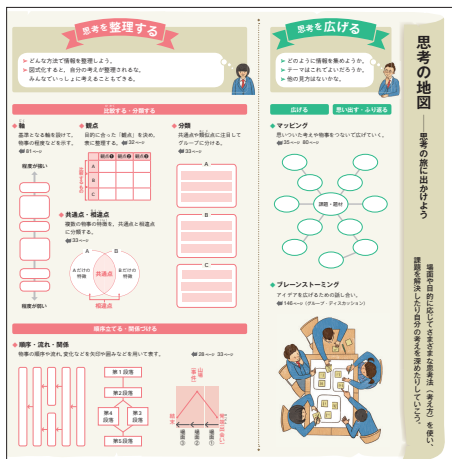
- 文章の構成や展開の効果を考え、考えたことを文章にまとめよう。
- 筆者の意見とそれを支える根拠との関係を理解する。
- 文章の構成や展開の効果について、根拠を明確にして考える。

「知識・技能」の観点

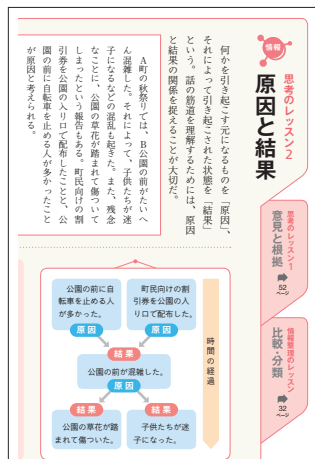
学習評価については、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の三観点が示されましたが、「知識・技能」「思考・判断・表現」については、教材の「**目標**」の二つの項目がそれぞれ対応しています。

また、「主体的に学習に取り組む態度」については、学習指導書の中で解説していますので、そちらをご覧ください（本誌P25にご案内を掲載しています）。

Q3 新しい評価の観点にはどのように対応していますか？



1年P9-10



1年P136-137

① 議題を確認し、グループごとに提案を発表する



3年「合意形成に向けて話し合おう」活動場面映像

Q5 これまでの教科書になかった新しいページはありますか？

前述した「思考のレッスン」「情報整理のレッスン」「思考の地図」「学習を振り返ろう」に加え、三年間を通して対話の力を育む「聞き上手になろう」を新設しています。

また、巻末折り込みでは、視覚的に学習のポイントがつかみやすい「学習の窓一覧」「思考のレッスン一覧」を設けました。

各学年巻末の「学習を広げよう」には、知識・技能の整理に役立つものや補助教材など豊富に掲載していますので、新学期を迎えるにあたって、ぜひお目通しいただき、授業のスパイスとしていただければと思います。

さらに、古典や説明文教材、読書教材も生徒の興味・関心を引きつけるような新たな構成を取り入れています。

Q6 デジタル教科書は、どのような特徴がありますか？

GIGAスクール構想の実現により、一人一台の端末を授業の中で活かすことが求められています。

「学習者用デジタル教科書」の大きな特徴は、「誰もが使いやすい」ということと「学習の幅がより広がる」ことです。

聞き上手になろう 「聞く」を大切にしよう

「聞く」は、コミュニケーションの基礎です。相手の話をしっかりと聞き、理解し、応答することが大切です。

① 相手の話をしっかりと聞き、理解しよう。
② 相手の話を聞きながら、自分の考えを整理しよう。
③ 相手の話を聞きながら、自分の考えを整理しよう。

「聞く」は、コミュニケーションの基礎です。相手の話をしっかりと聞き、理解し、応答することが大切です。

① 相手の話をしっかりと聞き、理解しよう。
② 相手の話を聞きながら、自分の考えを整理しよう。
③ 相手の話を聞きながら、自分の考えを整理しよう。

1年P116-117

古典の世界

「古典の世界」は、日本の文化や歴史を学ぶための教材です。古典の魅力を伝えるとともに、現代社会とのつながりを探ります。

① 古典の魅力を伝える。
② 現代社会とのつながりを探る。

「古典の世界」は、日本の文化や歴史を学ぶための教材です。古典の魅力を伝えるとともに、現代社会とのつながりを探ります。

① 古典の魅力を伝える。
② 現代社会とのつながりを探る。

1年P156-157

「読む」を大切にしよう

「読む」は、知識を身につけるための重要な手段です。文章の内容を理解し、自分の考えを整理することが大切です。

① 文章の内容を理解しよう。
② 文章の内容を理解しよう。

「読む」は、知識を身につけるための重要な手段です。文章の内容を理解し、自分の考えを整理することが大切です。

① 文章の内容を理解しよう。
② 文章の内容を理解しよう。

1年P266-267

「最後の晩餐」の新しい

「最後の晩餐」は、歴史上の重要な出来事です。その背景や意義を理解することが大切です。

① 最後の晩餐の背景を理解しよう。
② 最後の晩餐の意義を理解しよう。

「最後の晩餐」は、歴史上の重要な出来事です。その背景や意義を理解することが大切です。

① 最後の晩餐の背景を理解しよう。
② 最後の晩餐の意義を理解しよう。

2年P180-181

「読む教科書」から 「書く教科書・共有する教科書」へ

主体的、対話的に学ぶ場面で、自分の考えを記録したり、交流したりすることが効果的にスムーズに行えます。紙の教科書とは異なり、書き込みをすぐに消すことができるため、試行錯誤する学習活動が活性化します。思考の過程を可視化しながら、深い学びを実現する道具として活用できます。

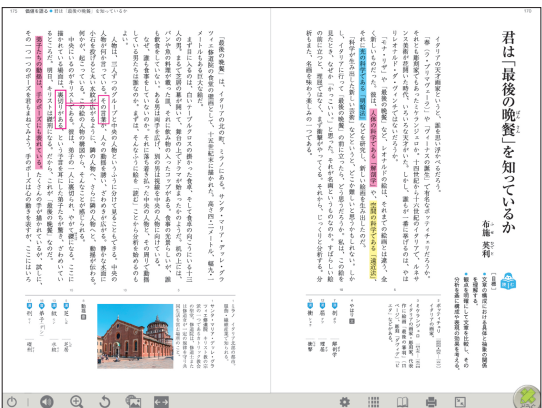
「教科書に合わせる」から 「教科書を合わせる」へ

視覚特性、特別支援、日本語を母語としない子どもなど、多様な子どもたちの特性に合わせてカスタマイズが可能です。インクルーシブ教育を実現する道具としても活用できます。そのほか、学びを支えるツールとして、左図に示した以外にも、一文ずつハイライトをしながら機械音声で読み上げる機能、動画再生などさまざまな機能があります。

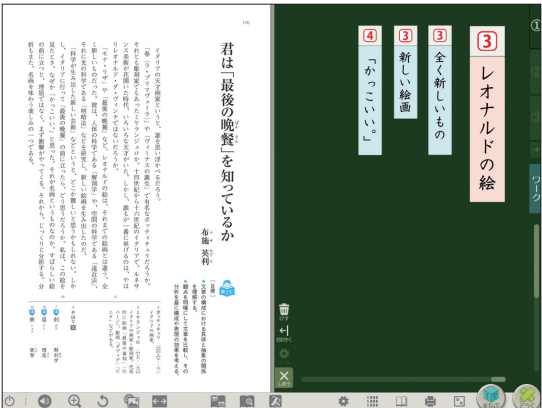
詳細はこちらをご覧ください。



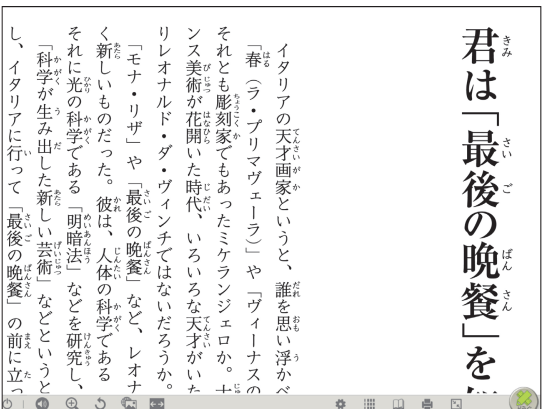
書いたり消したり、保存したりできる



挿絵や文章の抜き出し・編集ができる



全の漢字に振り仮名を表示



文字色・フォント・背景色などの変更が可能

